

マタマタ・ピアコ地区視察団来訪 相手国：ニュージーランド

北上市

○令和元年5月1～4日/北上市内・釜石鵜住居復興スタジアム
マタマタピアコ地区視察団7名

○事業内容

前年度チャレンジデーで対戦したニュージーランドマタマタ・ピアコ地区より、バーンズ市長や元オールブラックスのマシュー・クーパー氏ら視察団が来訪。中学生のラグビー指導や、北上市内の文化施設や遺跡、ラグビーワールドカップが行われる釜石鵜住居復興スタジアムを視察し、岩手北上について理解を深めるとともに、ニュージーランドとの交流を実施した。



元オールブラックス マシュー・クーパー氏のラグビー指導



北上市内 鬼の館



さくらホールを視察



釜石鵜住居復興スタジアムを視察

オールブラックスラグビークリニック 相手国：ニュージーランド

北上市

○令和元年7月19～20日、25日 / 黒沢尻東小学校 北上総合運動公園
小学生129名 中学生50人 高校生70人

○事業内容

ニュージーランドオールブラックスコーチによるラグビークリニック。
北上市内の小中高校生が、オールブラックスコーチにラグビー指導を受け、
技術や知識を学ぶとともに、ニュージーランドコーチとの交流を実施した。



北上市内の小中高校生がオールブラックスコーチからラグビー指導を受けた

RWC2019™日本大会機運醸成イベント ラグビー日本代表戦パブリックビューイング

北上市

○令和元年7月27日／詩歌の森公園／参加者 250人

○事業内容

ラグビーワールドカップ2019™日本大会PRブースや釜石鵜住居復興スタジアムで行われたラグビー日本代表対フィジー代表戦のパブリックビューイング観戦を通してラグビーに触れる機会を提供し、ラグビーワールドカップ2019™日本大会の開催機運醸成に繋げた。



詩歌の森公園に設置した大型スクリーンでのラグビー観戦



対戦国の文化やコンバージョンキック体験などのラグビーに触れることができるPRブースを設置

ウルグアイチーム・小中学生交流事業 相手国:ウルグアイ

北上市

○令和元年9月18日/北上総合運動公園

参加者 ウルグアイチーム30人 小学生234人 中学生31人

○事業内容

ウルグアイ代表チームと、地域住民が交流を行う事業。

小学生は日本文化体験とスポーツで、中学生はウルグアイ代表選手が直接ラグビー指導を行うラグビークリニックによる交流を実施した。



小中学生が製作した折り鶴応援フラッグ



国旗デザインの折り紙



小学生に教わりながら日本文化の折り鶴を体験



RWC2019™日本大会機運醸成イベント ラグビー日本代表戦パブリックビューイング

北上市

○令和元年9月19日/さくらホール

ウルグアイチーム RWC2019大会関係者 北上市招待者

○事業内容

ウルグアイ代表チームをホスト国日本がお迎えするウェルカムセレモニー。
ウルグアイ代表チームが日本に初めて入った都市「北上市」で開催され、さくらホールにウルグアイ代表チームをお迎えし、歓迎おもてなしを行った。



市民による選手のお出迎え



北上市の民俗芸能 鬼剣舞披露



和太鼓体験



必勝だるまに目を入れ、勝利をめざしワールドカップに臨むウルグアイ代表選手

ウルグアイ応援団「Vamos Uruguay」主催 ウルグアイ代表チーム必勝祈願パーティー

北上市

○令和元年9月18日/ホテルシティプラザ北上

チーム関係者8名 ウルグアイ大使館関係者：大使夫妻他4名

ウルグアイ応援団サポーター150人

○事業内容

民間団体に組織した応援団主催による、必勝祈願パーティーを開催。大使夫妻他大使館関係者とウルグアイチーム関係者をお招きし、歌手によるスペシャルライブや鬼剣舞披露によりウルグアイ必勝を祈願した。



大使へ応援団Tシャツを贈呈



ウルグアイチームスタッフ



ウルグアイ産ワインを堪能



ウルグアイタンゴ歌手
マリア・エウヘニカ・メリカさんスペシャルライブ



必勝を祈願し、みんなでVamos Uruguay
発声で記念撮影

○令和元年9月25日/釜石鵜住居復興スタジアム/北上市内鬼剣舞団体
○事業内容

日本の文化や魅力を世界中から集まる観戦客に体験してもらうため、試合開始前にスタジアムで行われる演出「ホストシティパフォーマンス」。釜石鵜住居復興スタジアムで行われたフィジー対ウルグアイ戦に先立ち、北上市内鬼剣舞8団体が出演し、迫力の演舞で試合前のスタジアムを盛り上げを行った。



満員の観客の中スタジアムのフィールドで鬼剣舞を披露

RWC2019™日本大会イベント ラグビーワールドカップパブリックビューイング

北上市

- | | | |
|------------|------------------|----------|
| ○令和元年9月25日 | フィジー 対 ウルグアイ戦 | 参加者 290人 |
| ○令和元年9月28日 | 日本 対 アイルランド戦 | 参加者 350人 |
| ○令和元年9月29日 | ジョージア 対 ウルグアイ戦 | 参加者 250人 |
| ○令和元年10月5日 | オーストラリア 対 ウルグアイ戦 | 参加者 50人 |
| | 日本 対 サモア戦 | 参加者 270人 |

○事業内容

ラグビーワールドカップの試合を会場に設置した大画面でみんなで観戦し、ラグビーワールドカップ2019™日本大会の応援を実施した。



会場の人々でウルグアイを応援



ウルグアイ料理チビートのふるまい



日本代表のトライのたびに会場は大盛り上がり



格上の相手フィジーに勝利



日本代表がアイルランドに勝利

○令和元年10月2日～5日／北上市内／Nz高校生 20名
北上市高校生 100名

○事業内容

Nzカシミア高校ラグビー部U-16チームを招聘し、同校と市内の高校生、ホームステイ先のホストファミリーとの交流、日本文化の体験プログラム、ラグビー交流を通じて、スポーツと文化の交流を実施した。



カシミア高校生 ハカ披露



ラグビーワールドカップ
N z 対カナダ戦をホストファミリーと観戦



日本文化体験 座禅・抹茶



北上市内高校生徒のラグビー交流

宮古市地域交流計画「ナミビア共和国」

○地域交流計画の目的

ナミビア代表チームの公認チームキャンプ地に決定したことを契機として、市民がラグビーに関する理解を深める機会・ナミビアの文化に触れる機会を提供し、国際理解の推進を図る。

○地域交流計画の概要

ラグビー普及事業（タグ＆ストリートラグビー、一斉体験会、スポーツ笑顔の教室）

機運醸成事業（シティドレッシング、料理講習会）、国際理解教育授業、防災事業の発信



大使歓迎レセプション & 国際理解教育「ナミビアDay」



ナミビア料理教室 & "夢先生" 伊藤剛臣さん



全国一斉ラグビー体験会



ナミビア代表チーム「市民交流」



ストリートラグビー

宮古市地域交流計画「フィジー共和国」

○地域交流計画の目的

フィジー代表チームの公認チームキャンプ地に決定したことを契機として、市民がラグビーに関する理解を深める機会・フィジーの文化に触れる機会を提供し、国際理解の推進を図る。

○地域交流計画の概要

ラグビー普及事業（タグ＆ストリートラグビー、一斉体験会）、国際理解教育授業
機運醸成事業（シティドレッシング）、キャンプ地交流事業（秋田市）、防災事業の発信



ストリートラグビー



タグラグビー教室



スポーツ笑顔の教室



シティドレッシング



学校給食「フィジーDay」



「学ぶ防災」体験



秋田市「フィジー村」

カナダラグビーチームとのラグビー交流

釜石市

※台風により中止(以下、計画)

- 開催期日 令和元年10月11日(金)
開催場所 根浜海岸多目的広場(公認キャンプ地)
参加人数 100人(カナダチーム及び市内中学生)

○交流事業実施内容の詳細

市内の特設ラグビー部を有する中学校3校のラグビー部員を対象に、ラグビーワールドカップ2019出場国:カナダ(釜石開催出場)チーム選手によるラグビー教室を開催し、世界レベルのプレーを体感しながら、ラグビーを通じて国際的な視野を広げることを目的とするもの。(全体所要時間 70分)

- ラグビーの指導・体験
- 質問コーナー・選手握手会等
- 記念品贈呈

等々予定したが、台風第19号の影響で事業(試合も)中止となったため、カナダチーム選手たちは、東日本大震災追悼施設「祈りのパーク」で献花を行うと共に、被災した市内で災害ボランティア活動を行った(10/13)。



台風第19号で土砂が流出し、被災により試合中止となった釜石鶴住居復興スタジアム(①)



「祈りのパーク」を訪れ、慰霊碑に一礼し、献花する選手たち(②、③)



被災した市内で堆積した泥かき、家具搬出を行うカナダの選手ら(④、⑤)



オーストラリア① 東海市海外体験学習事業

釜石市

※今後実施予定

○開催期間 事前研修期間 令和元年11月15日～令和2年2月21日
海外派遣期間 令和2年3月7日～令和2年3月18日

開催場所 オーストラリア／参加人数 10人(生徒8人・引率2人)

○交流事業実施内容の詳細

当市の姉妹都市である東海市を通じ、両市の中学生をオーストラリアに派遣し、現地の子どもたちとの交流、RWC等についての事前研修に基づく発表体験、ホームステイ交流、東日本大震災の紹介等を行い、豊かな国際感覚を身に付け、学校や地域、全国、さらには世界で活躍できる次世代のリーダー育成、RWCLレガシーの継承を目的とする。



現地で披露するダンスの練習

事前研修の様子

現地の子供たちに対して日本文化を紹介するための準備



当市所属の国際交流員による英会話レッスン

オーストラリア② ラグビー交流事業

釜石市

※今後実施予定

○開催期間 令和元年9月24～25日・令和元年11月15～17日

開催場所 釜石市球技場・釜石鵜住居復興スタジアム ／参加人数約500人

○交流事業実施内容の詳細

かつて釜石シーウェイブスRFCに所属したオーストラリア出身のラグビー選手：スコット・ファーディー氏を、RWC2019™岩手・釜石開催に合わせて招聘、県内高校生とオーストラリア高校生の交流試合と併せてラグビークリニックを開催、同時に地元の米と外国の具材でおむすびを作る、食を通じた国際交流イベント「せかいむすび」の実施。また、岩手・釜石開催会場やファンゾーンで市民との交流を行った。

オーストラリア小学生を招聘し、市内の小学校6年生と、釜石の文化を紹介する等の交流会を実施。また、市内小学校タグラグビー大会への参加により、交流の機会を創出し、レガシーとして絆を深めると共に、東京2020オリパラ大会に向け「ラグビーのまち・釜石」発信、誘客促進を目的に実施したもの。



オーストラリア高校生と岩手県選抜高校生の交流事業



釜石鵜住居復興スタジアムにてファンと交流



スコット・ファーディー選手とオーストラリア高校生

スコット・ファーディー選手を招聘しての交流事業



「せかいむすび」イベント



ラグビークリニック



ファンゾーンで市民と一緒にストリートラグビーで交流



「いのちをつなぐ未来館」で津波防災学習

オーストラリア小学生を招聘しての交流事業



市内小学校対抗タグラグビー大会に参加



双葉小学校6年生との交流事業



国際交流事業(太鼓の実演)



(書道の体験)

ニュージーランド 海外青少年交流事業

釜石市

○開催期間 令和元年9月30日～令和元年10月2日 ※当市開催分

開催場所 市内各所 ／参加人数 120人

○交流事業実施内容の詳細

岩手県と連携し、「震災からの復興」「ラグビー」の共通点を持つニュージーランド・クライストチャーチの高校生を招待し、当市を含む本県高校生とのラグビー交流試合、防災研修、学校訪問、ホームステイ等を通じ、相互の異文化理解を深めると共に、ラグビーワールドカップ2019後を見据えた外国人受入態勢の構築、釜石鵜住居復興スタジアムの有効活用によるスポーツ交流人口拡大を目的に実施したもの。



防災学習 祈りのパークで慰霊



ウェルカムセレモニー全体写真
ホストファミリー、釜石商工高虎舞、市長らと共に



釜石高校を学校訪問



釜石高、釜石商工高と合同練習



文化体験として、
尾崎神社奥宮を訪問

○開催期間／開催場所／参加人数

①6月22日(土)、6月23日(日)／山形市役所前／延約300名

②9月6日(土)、9月7日(日)／イオンモール天童／延約400名

○交流事業実施内容の詳細

①は「日本一さくらんぼ祭」、②は「ホストタウン大集合！山形スポーツフェスタ2019」と同会場において、パス、タックル、キック、リフト各種の体験会を開催した。



①におけるキック体験の様子



②におけるリフト体験の様子

交流事業取組名 日本代表者経験者によるトークショー 自治体名 山形県・山形市・天童市

○開催期間／開催場所／参加人数

①6月23日(日)／文翔館前／約200名

②9月7日(日)／イオンモール天童／約400名

○交流事業実施内容の詳細

①は「日本一さくらんぼ祭」、②は「ホストタウン大集合！山形スポーツフェスタ2019」と同会場において開催。両回共に元日本代表でラグビーワールドカップ2019™アンバサダーの伊藤剛臣氏、元U18日本代表の新関世志輝氏をゲストにトークショーを開催した。また、①にはラグビーワールドカップ2019™アンバサダードリームサポーターの松木安太郎氏、②には同じく織田信成氏にも参加いただいた。両回ともにラグビーやワールドカップ、海外との交流についてなどを話題にトークを展開した。



①におけるトークショーの様子



②におけるトークショーの様子

○開催期間／開催場所／参加人数

①6月22日(土)、23日(日)／山形市役所前／延約1,000名

②8月4日(日)／大沼本店前／約500名

③9月6日(土)、7日(日)／イオンモール天童／延約500名

○交流事業実施内容の詳細

①は「日本一さくらんぼ祭」、②は「花笠サマーフェスティバル」、③は「ホストタウン大集合！山形スポーツフェスタ2019」と同会場において開催。展示だけでなく、参加型によるサモアの文化やサモア代表に関する情報発信(学習)を行った。



①において親子が参加する様子



③において親子が参加する様子

○開催期間／開催場所／参加人数

9月16日(月)／文翔館／延約100名

○交流事業実施内容の詳細

大会公式行事として開催され、式典には関係者が参加し、郷土芸能により歓迎した。また、会場の外では、一般県民が選手たちを歓迎・送迎し、交流を行った。



式典における郷土芸能の披露



一般県民の歓迎、交流の様子

交流事業取組名 歓迎セレモニー 自治体名 山形県・山形市・天童市

○開催期間／開催場所／参加人数

9月15日(日)／ホテルメトロポリタン山形／20名

○交流事業実施内容の詳細

チームが到着した際に地元高校生ラグビー部員の代表等による歓迎式典を開催した。



セレモニーの様子



高校生からギフトの贈呈

○開催期間／開催場所／参加人数

10月5日(土)／①霞城セントラル、②イオンシネマ天童／
延約500名

○交流事業実施内容の詳細

本県でキャンプを行ったサモア対日本戦のパブリックビューイングを2会場で開催した。



①の様子



②の様子

交流事業取組名 観戦ツアー

自治体名 山形県・山形市・天童市

○開催期間／開催場所／参加人数

9月24日(火)／熊谷ラグビー場／80名

○交流事業実施内容の詳細

本県でキャンプを行ったサモアの初戦である対ロシア戦の観戦ツアーに、県民及び高校生ラグビー部員が参加した。



出発前の高校生



サモア国旗を掲げ観戦する参加者

出場国(キャンプ)チームと小学生の交流

埼玉県・熊谷市

公認チームキャンプ地を熊谷市内で行ったチームの内、ジョージア・アメリカ・アルゼンチンと市内3校の小学生との交流を行った。

○ジョージア 令和元年9月27日(木) 熊谷スポーツ文化公園陸上競技場内 (当初学校を訪問する予定であったが、チームの都合により練習グラウンドである熊谷スポーツ文化公園陸上競技場になった。)

参加者 佐谷田小学校 代表者・教諭7人 チーム側7人

・チームの練習を見学後、交流し、贈り物の交換を行った。(学校側:千羽鶴・扇子等、チーム側:サイン入りユニホーム・ラグビーボール)

○アメリカ 令和元年10月7日(月) 熊谷西小学校体育館 参加者:熊谷西小学校全校児童571人、教職員等 チーム側8人

・小学生によるアメリカ国歌合唱・直実節踊り披露・うちわによる応援等

・チーム選手によるラグビーのデモンストレーション(リフトアップ・スクラム・パス回し等)

・贈り物の交換(学校側:千羽鶴 チーム側:サイン入りユニホーム・ラグビーボール・盾・バッチ)

○アルゼンチン 令和元年10月8日(火) 桜木小学校体育館 参加者:桜木小学校全校児童173人、教職員 チーム側24人

・小学生による直実節踊り披露・応援等。チーム選手によるラグビーのデモンストレーション(リフトアップ・スクラム・パス回し等)

・贈り物の交換(学校側:アルゼンチン国旗を模した千羽鶴 チーム側:サイン入りユニホーム・ラグビーボール)

※各小学校とも交流したチームを熊谷ラグビー場で実際に応援することができ、一生の思い出になった。

佐谷田小学校と
ジョージア



熊谷西小学校とアメリカ



桜木小学校とアルゼンチン



出場国について学び試合観戦で応援

埼玉県・熊谷市

熊谷市内の小中学生全員が熊谷ラグビー場での3試合のうち1試合を授業として観戦、出場国の国歌を斉唱するとともに、独自の応援をした。また、そのために授業でラグビーの精神やルール、出場国の国歌や文化・社会情勢などを学習した。

・熊谷市では、以前から全小学校でタグラグビーをカリキュラムに取り入れている。また、昨年度から熊谷ラグビー場で試合をする6カ国について学習してきた。観戦する試合が決定した令和元年5月からは、応援するチームの国歌や応援の練習や独自の応援グッズの作成に取り組んだ。

・熊谷ラグビー場開催試合別教育プログラムでの観戦者数

9月24日(火)4,250人 9月29日(日)4,785人 10月9日(水)4,928人 合計13,963人

・子どもたちによる国歌斉唱や手作りグッズによる元気いっぱいの応援は、選手のみならず試合会場の一般客にも感動を呼び、多くのマスコミにも取り上げられた。また、子どもたちにも一生に一度の記憶として心に強く残った。

また、学習した成果物や応援グッズ、観戦の様子や観戦後の感想文などを大会後、市役所ロビーに展示し、多くの市民に観ていただいた。

国歌斉唱



熊谷ラグビー場
での試合観戦

学校ごとにまとまり観戦・応援する様子



学習成果物や応援グッズ等



市役所ロビーで
の学習成果・応
援グッズ・感想
等の展示

試合観戦やワールドカップを通じて
経験したことの感想文などの展示



食で知る出場国（出場国の料理を小中学校給食で提供） 埼玉県・熊谷市

9月から10月上旬にかけて、熊谷ラグビー場で試合を行う6カ国の料理を各国3品ずつ給食用にアレンジし提供した。市内小中学校45校全校 約15,000食（教職員分含む）×6日（全員が6ヶ国3品の献立を食べた。）

- 献立は別添「ラグビーワールドカップ2019記念給食だより」参照 ※給食だよりのデータ送付します。
- 子どもたちの感想等
「チョリソーが酸味がきいていておいしかった。給食を通じてウルグアイのことを知ることができて良かった。試合観戦では一生懸命応援する。」（佐谷田小学校）など非常に好評で試合観戦・応援に向けて気分を盛り上げるのにも効果があった。

ラグビーワールドカップ2019記念給食ウルグアイ編の様子
献立は、チョリソーのチミチュリソースかけ・ギソ・ウルグアイエンサラダ



出場国出身講師を招いてのと市民との交流(講座)埼玉県・熊谷市

市国際交流協会主催で昨年度(アルゼンチン・ジョージア)に引き続き今年度は、サモア・ロシアと交流(講座)を実施した。大使館の都合により、今回はグローバル人材センター等からの派遣となった。

○サモア 令和元年6月27日(土) KUMAGAYA PLACE (アズ熊谷6階) 参加人数 75人
サモアの文化・風習・シヴァタウなどの紹介。サモア産健康飲料「ノニジュース」の試飲等
サモアの風が流れたようにあたたかい雰囲気になり、「サモアに行ってみたい。」という感想が多かった。

○ロシア 令和元年7月13日(土) KUMAGAYA PLACE (アズ熊谷6階) 参加人数 77人
民族衣装で登場したロシア料理店を経営している講師がロシア料理の数々を紹介。手作りお菓子フボロストとロシアンティーによるティータイム。ロシアのゲーム、ダンスを教えてもらい体験した。皆さんすごく楽しかったとのことであった。

サモア



ロシア



ロシアを相手国とする地域交流の取組

国際友好フェア、ロシア講座、元日本代表選手による講演・タグラグビー体験教室、高校生ラグビークリニックの開催 さいたま市

◆ ロシア代表チームのキャンプ地として、選手等と市民との交流イベントの開催やラグビー競技・ロシア文化等を通じた交流により、キャンプ地としての気運醸成とホスピタリティマインドの向上を図った。

○ 国際友好フェア2019(開催日:令和元年5月3日、4日/場所:市民の森・見沼グリーンセンター(北区)/来場者数:55,000人)
世界各国の料理や物産品販売、音楽演奏が行われる国際友好フェアにおいて、ロシア料理などの出展者と連携し、来場者にキャンプ地PRを実施した。

○ 小学生タグラグビー教室(開催日:令和元年6月1日/場所:レッズランド(桜区)/参加人数:15名)
小学生を対象としたタグラグビー教室を開催し、タグラグビー体験、元ラグビー日本代表・堀越正己氏による講演会を実施した。

○ ロシア講座「楽しいロシア」～ロシアと日本の違いをのぞいてみよう～
(開催日:令和元年6月29日/場所:国際交流センターぷらっとサロン(浦和区)/参加人数:35名)
ロシア文化・歴史への理解を深めるため、ロシア人講師によるロシアの雑貨や民族衣裳、ロシア文化等を紹介するロシア講座を実施した。

○ 高校生ラグビークリニック(開催日:令和元年9月15日/場所:レッズランド(桜区)/参加人数:70名)
ロシア代表チームと県立浦和高等学校、県立浦和工業高等学校ラグビー部員との交流イベントとして、実技指導やデモンストレーションを行うクリニックを実施し、ラグビー部員による歓迎スピーチ、歓迎フラッグの贈呈、記念撮影等の交流を図った。

○ 歓迎フラッグの作成・贈呈
ロシア代表チームの大会盾をデザインした大型フラッグを作成し、イベント開催時に来場者・参加者へメッセージ記入を募った。
フラッグは、ロシア代表チームが市役所を訪問した際に掲出し、高校生ラグビークリニックでチームに贈呈した。

小学生タグラグビー教室 堀越正己氏による講演



ロシア講座



高校生ラグビークリニック



歓迎フラッグへのメッセージ記入・贈呈



ラグビーワールドカップ2019™ 日本大会100日前イベントin海老名

海老名市

- 1 開催日 令和元年6月16日(日)
- 2 会場 海老名駅駅間芝生広場
- 3 出演者 大会アンバサダー(元日本代表)田沼 広之氏、大会ドリームサポーター 松木安太郎氏
Scrum Unison(村田氏、田中氏)、神奈川県立中央農業高校 和太鼓部
YUTA、K Dance Academy スクール生、はさみ家紙太郎氏
チアリングスクールゴールデンウェーブス、こにわ氏
- 4 来場者数 約600名
- 5 内容 県立中央農業高校和太鼓部の演奏から始まり、EBINAダンスの披露や、Scrum Unisonのお二人による、ロシア国歌をイベント参加者の皆様と歌うコーナーもあった。
ラグビートークショーでは、元日本代表田沼氏と大会ドリームサポーターである松木氏にお越しいただき、大会の見所等を語っていただいた。



トークショーの様子



全体MC こにわ氏



EBINAダンス披露



和太鼓演奏

歓迎ラグビーロシア代表 地域交流イベントin海老名

海老名市

- 1 開催日 令和元年9月28日(土)
- 2 会場 海老名運動公園陸上競技場
- 3 参加者 RWCロシア代表チーム:約50名 海老名ラグビースクール:20名
海老名市立柏ヶ谷中学校ラグビー部:20名 えびなラグビーサポーター:約100名
市内小学生:約50名
- 4 内容 ロシア代表チームと市内の子どもたちが、パスやタックルの練習を行った。世界レベルの選手たちと共にプレイする機会となり、子どもたちは夢中で球を追いかけていた。
また、サイン会も行われ、子どもたちだけでなく、観覧に来てたえびなラグビーサポーターも選手からサインをもらうことができた。参加者全員で記念撮影をした後、プレゼント交換を行い、ロシアチームからはサイン入りユニフォームやボールが贈られた。



参加者全員での記念撮影



ロシア代表選手との交流の様子